

令和5年3月29日

三鷹市議会議長 土 屋 けんいち 様

特別委員長 高 谷 真一朗

調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会
活 動 経 過 報 告 書

本委員会は、令和元年第1回臨時会において、「調布飛行場周辺の利用及び安全について積極的な対策を講ずること」を目的として設置され、以来約4年間にわたり活動を続けてまいりましたので、その活動経過を下記のとおり報告いたします。

記

○ 委員会開会月日とその概要について

1 令和元年5月23日

- ・「調布飛行場周辺の利用及び安全について積極的な対策を講ずること」を目的として設置
- ・正副委員長互選の結果
委員長 高 谷 真一朗
副委員長 吉 沼 徳 人 を互選

2 令和元年6月24日

- ・調布基地跡地利用計画の経過について
- ・調布基地跡地の整備状況について
- ・調布飛行場について
- ・株式会社東京スタジアムの経営状況等について
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等について
- ・議会閉会中継続審査申し出について

3 令和元年9月20日

- ・第9回調布基地跡地関連事業推進協議会について

- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
 - ・議会閉会中継続審査申し出について
- 4 令和元年11月1日
- ・東京都調布飛行場を現地視察
- 5 令和元年12月13日
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
 - ・ラグビーワールドカップ2019TM開催結果について
 - ・議会閉会中継続審査申し出について
- 6 令和2年3月19日
- ・議会閉会中継続審査申し出について
- 7 令和2年6月17日
- ・議会閉会中継続審査申出について
- 8 令和2年9月23日
- ・議会閉会中継続審査申出について
- 9 令和2年12月14日
- ・新たな機種[※]の調布飛行場の使用について
 - ・調布飛行場誘導路整備工事について
 - ・議会閉会中継続審査申出について
- ※ 新たな機種[※]の調布飛行場の使用については、各委員からの意見を付しておおむね了承
- 10 令和3年3月22日
- ・調布飛行場における飛行検査機の変更について
 - ・調布飛行場における自家用機の分散移転状況について
 - ・議会閉会中継続審査申出について
- 11 令和3年6月14日
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の取り組みについて
 - ・議会閉会中継続審査申出について

- 12 令和3年9月22日
 - ・議会閉会中継続審査申出について

- 13 令和3年12月14日
 - ・大沢野川グラウンドの復旧事業の実施について
 - ・議会閉会中継続審査申出について

- 14 令和4年3月18日
 - ・既登録機種と同一型式の航空機の調布飛行場の使用について
 - ・大島空港給油施設等の整備状況について
 - ・大沢野川グラウンドの復旧事業について
 - ・議会閉会中継続審査申出について

- 15 令和4年6月23日
 - ・令和4年度調布飛行場諸課題検討協議会（第1回）の開催結果について
 - ・調布基地跡地福祉施設（仮称）整備にかかる基本プラン改定について
 - ・大沢野川グラウンドの復旧工事について
 - ・議会閉会中継続審査申出について

- 16 令和4年9月22日
 - ・議会閉会中継続審査申出について

- 17 令和4年12月15日
 - ・副委員長辞任に伴う副委員長互選の結果
副委員長 伊 東 光 則 を互選
 - ・令和4年度調布飛行場諸課題検討協議会（第2回）の開催結果概要について
 - ・東京都パラスポーツトレーニングセンター指定管理者候補者の決定について
 - ・議会閉会中継続審査申出について

- 18 令和5年3月23日
 - ・大島空港給油施設等の整備状況について
 - ・東京都パラスポーツトレーニングセンターのオープンについて
 - ・調布飛行場で令和5年3月11日に発生した火災について
 - ・調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会活動経過報告書の確認について

○ 活動経過の概要と現況について

本委員会はその設置された目的に基づき、調布飛行場周辺の利用及び安全について積極的な対策を講ずるとともに、本市と東京都との覚書に基づく協議事項について市長に意見を申し述べてきた。

本委員会の活動期間における調布飛行場周辺関連の主な動きは次のとおりである。

- ・ 令和元年9月 ラグビーワールドカップ2019開催、東京スタジアムで8試合実施
- ・ 令和2年1月 国内で初めて新型コロナウイルス感染者を確認
- ・ 令和2年2月 調布飛行場誘導路整備工事着工
- ・ 令和2年3月 新型コロナウイルス感染症の影響により東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の1年程度の延期が決定
- ・ 令和2年8月 新型コロナウイルス感染症の影響により調布飛行場誘導路整備工事の工期延伸
- ・ 令和2年12月 調布飛行場における飛行検査機がプロペラ機からジェット機へ変更
- ・ 令和3年2月 調布飛行場誘導路供用開始
- ・ 令和3年6月 大島空港格納庫完成
- ・ 令和3年7月 東京2020オリンピック競技大会開催、調布飛行場周辺施設等において自転車競技ロードレース、サッカー等は無観客で実施
- ・ 令和3年8月 東京2020パラリンピック競技大会開催、武蔵野の森総合スポーツプラザにおいて車いすバスケットボールを無観客で実施
- ・ 令和3年10月 平成27年の小型航空機墜落事故における業務上過失致傷の疑いについて、小型航空機管理会社社長が嫌疑不十分、墜落機の機長が容疑者死亡により、いずれも不起訴処分
- ・ 令和3年12月 大島空港給油施設等の整備工事における入札不調
- ・ 令和4年3月 東京都による大沢野川調節池規模拡大工事が完了
大沢野川グラウンドの復旧工事の工事手法の変更及びスケジュールの見直し
- ・ 令和4年6月 平成27年の小型航空機墜落事故における小型航空機管理会社への賠償請求について、実質的な指揮監督関係がなかったとして、最高裁が棄却
- ・ 令和4年7月 大沢野川グラウンドの復旧工事の住民説明会を実施
大沢野川グラウンドの復旧工事着手

武蔵野の森公園、武蔵野の森総合スポーツプラザ、東京スタジアム等のエリアへ武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパークの名称をレガシーとして付与

- ・ 令和4年10月 大島空港給油施設等の整備工事における2回目の入札不調
東京都港湾局が調布飛行場自家用機分散移転推進委員会を設置
- ・ 令和5年1月 大島空港給油設備工事における入札・契約
- ・ 令和5年3月 大島空港誘導路ほか建設工事における入札不調
調布飛行場に墜落事故風化防止のための「安全の誓い」の碑を設置
東京都パラスポーツトレーニングセンター開業

以上のように、本委員会の活動してきたこの約4年間は、東京2020オリンピック競技大会の開催をはじめとした調布飛行場周辺利用の取組が推進された一方、同飛行場に常駐する自家用機の分散移転の取組についてはいまだ課題が残る中、本委員会でも多くの議論が交わされたところである。

こうした経過を踏まえ、今後における調布飛行場周辺の利用及び安全についての積極的な対策の観点から本委員会は次の点を指摘しておく。

1 調布飛行場における安全対策の徹底について

平成27年7月の小型航空機墜落事故を契機として、東京都が平成30年に構築した調布飛行場における管理運営の一層の適正化や、航空機の運航に関する安全対策の強化、被害者救済のための仕組み等の取組については、おおむね適正に履行されており、本委員会の活動期間中に重大事故が起きなかったこと、また令和3年2月には、滑走路長を最大限活用するための誘導路等を整備するなど、飛行場運用の安全性向上を図ったことは評価する。

引き続き、調布飛行場の安全対策及び厳格な管理運営と透明性の向上を徹底して図りつつ、事故再発防止に向け、地元3市との連携及び周辺住民への迅速な情報提供、墜落事故風化防止の取組を行うよう東京都に働きかけられたい。

2 自家用機分散移転の取組について

自家用機分散移転の取組については、移転先として想定している大島空港の格納庫が令和3年6月に完成したものの、給油施設等は2度にわたる工事入札の不調により完成に至っていない。この影響等により、本委員会の活動期間中において、自家用機は1機も移転していない状況である。また、大島空港の整備が完了したとしても、移転に伴う自家用機所有者の金銭的負担の発生など、多くの課題

がある。

このような状況の中、東京都港湾局は、令和4年10月に調布飛行場自家用機分散移転推進委員会を新たに設置し、令和5年度から移転促進補助制度の創設や大島空港以外の移転先の選択肢拡大等に取り組むとしている。平成9年に締結した協定における都営通勤ター空港化受入条件の一つであり、平成27年7月の小型航空機墜落事故を受けて東京都が取りまとめた調布飛行場の諸課題解決に向けた取組の一つでもある自家用機の分散移転に向けてあらゆる方策を検討し、取組を推進するよう東京都に働きかけられたい。

3 調布基地跡地福祉施設（仮称）の整備について

調布基地跡地福祉施設（仮称）の整備については、平成5年、東京都が策定した調布基地跡地土地利用計画に基づき、調布基地跡地の一部を福祉ゾーンと位置づけた上で、地元3市の分担により社会福祉施設を整備することとされてきた。これまで、調布市を幹事市として調布市知的障がい者援護施設「なごみ・そよかぜ・すまいる」、府中市を幹事市として特別養護老人ホーム「あさひ苑」が整備され、共同運営されている。

本市を幹事市として整備予定の施設については、障がい者施策を取り巻く状況等の変化や平成29年6月に策定した調布基地跡地福祉施設（仮称）整備に係る基本プランを踏まえた事業者公募が不調になったことにより、整備が進んでいない状況であった。

そのような結果を受け、東京都と地元3市において、優先して解決すべき課題を基に事業内容の見直しを図り、令和4年6月に調布基地跡地福祉施設（仮称）整備に係る基本プラン（改定版）を策定した。本プランに基づき、令和4年9月に再公募を行った結果、複数の入札があり、現在は事業者選定を行っている。

今後、調布基地跡地福祉施設（仮称）整備に係る基本プラン（改定版）で示した事業スケジュールのとおり、令和8年1月の供用開始に向け、着実に事業を推進し、医療的ケアを必要とする人や重症心身障がい者、重度知的障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境整備に努められたい。

4 ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の取組等について

令和元年9月、ラグビーワールドカップ2019日本大会が開催された。東京スタジアムでは8試合が行われ、合計で380,502人の入場者を記録した。令和3年7月には、新型コロナウイルス感染症の影響により延期されていた東京2020オリンピック競技大会が開催され、調布飛行場周辺施設等においては無観客ながらも自転

車競技ロードレース、サッカー、バドミントン等が実施されたほか、令和3年8月に開催された東京2020パラリンピック競技大会では、武蔵野の森総合スポーツプラザにおいて車椅子バスケットボールが実施された。

また、令和5年3月には、パラスポーツの競技力向上・普及振興の場として、東京都パラスポーツトレーニングセンターが味の素スタジアム内にオープンした。

今後も、各大会の開催実績やレガシー継承の取組、新施設の開設等を生かし、スポーツ等の振興に取り組むとともに、まちの活性化に努められたい。

○ 終わりに

本委員会はその設置された経過と目的を踏まえ、約4年間にわたり精力的に検討を重ねてきた。

この約4年間は、調布飛行場誘導路の整備等による飛行場運用の安全性の向上とともに、調布基地跡地福祉施設（仮称）整備に係る基本プラン（改定版）を踏まえた事業者公募の実施、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等による調布基地跡地の土地利用が図られた一方、自家用機分散移転については、遅々として進まない時期であった。

市理事者においては、これらの経過を踏まえ、調布飛行場における安全対策及び管理運営状況の履行確認、調布基地跡地福祉施設（仮称）整備の着実な推進に努めるとともに、これまで述べてきた諸問題の解決に全力を傾注されることを期待し、経過報告を終わる。